

2025 年度入社式 社長挨拶

本日執り行われた当社 2025 年度入社式における社長挨拶文を以下に掲載いたします。

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。会社を代表して皆さんを心から歓迎いたします。
さて、皆さんは新型コロナ禍の真只中での受験を乗り越え、大学生活のうち、半分程度が種々の行動制限を受けて過ごしてきたのではないのでしょうか。サークル活動や留学、対面での授業など、思い描いていた学生生活とは異なったものになったかも知れません。中には、「もう少し学生でいたかった」と感じている人もいることでしょう。それでも、こうして新たに社会人になるに当たり、一人ひとり感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

今日から皆さんの長い会社人、そしてそれより長い社会人生活が始まります。そこで、皆さんに基本的な心構えについてお話ししたいと思います。

まず社会人としての 1 つ目は、これが一番大事なことだと思いますが、心身共に良いコンディションを維持することです。「健全な精神は健全な肉体に宿る」、あるいは「健康を失うとすべてを失う」とも言います。仕事をするにしても遊ぶにしても、心身共に健康でなければ心の底から楽しむことは出来ません。バランス良い食事、十分な睡眠、適度な運動、趣味による気分転換など、規則正しい生活を送り、健康管理に心がけることが重要です。

2 つ目は、皆さんが一人の立派な大人である自覚を持ち、社会の一員として責任ある行動を取ることです。もう学生気分のままではいけないと言うことです。あまりにも当たり前のことですが、以上の 2 つのことはいつも忘れずに心に留めておいてください。

次に、皆さんが当社での業務に取り組むうえで、入社 42 年目の私が重要だと考えるポイントを 3 つ程お話ししたいと思います。

1 つ目は、何事も自分事と捉え、自分で考えて解決策を探ること。当事者意識を持って、「自分ならどうするか？」と常に自分に問う癖をつけてください。

2 つ目は、自分で考えても分からないことは、先輩や上司に遠慮なく尋ねること。一見簡単そうですが、答えてくれた説明の方がさらに分からないことも実は多く、つつい分分かるまで聞くことを躊躇してしまうケースもあります。しつこく質問しても許されるというのが新人の最大の特権です。「質問することを恥じるな、質問しないこそが恥だ」とも言います。

3 つ目は、情報収集を怠らず、広い視野を保つことです。内外の情勢動向にアンテナを張り、自らのポジションを常にアップデートすることは重要です。企業戦士にとって情報は闘うための重要な武器になります。常日頃から武器の手入れを怠らないようにしてください。

皆さんは当社のことについては既にかなりご存知なのではと思います。当社は 1925 年に創業し、本年に創立 100 周年を迎える、大変に歴史と伝統ある会社です。また、過去には世界でも類を見ない熱間圧延機プラネタリーミルを導入したり、あるいは電気炉を使わないクルップレン法によるニッケル製錬技術で現在も操業しているなど、大変先進的、ユニークな会社とも言えます。さらに古いだけでなく、この数年、色々と新しい施策に取り組んでいます。例えば、川崎製造所においては、基幹設備の更新を行いました。2022 年の 1 月には業界に先駆けてアイデア満載の最新鋭電気炉を、今年の 11 月

にはこれも最新鋭の冷間圧延機が完成し、稼働中です。大江山製造所においても、カーボンレスニッケル製錬への挑戦を掲げて、主原料をニッケル鉱石から都市鉱山へ転換するなど、さまざまな挑戦を続けています。その先進的・独創的DNAは現在に引き継がれています。

そして、私たちを取り巻く環境、世界情勢に目を向ければ、ウクライナやパレスチナでの紛争、米中摩擦の激化、トランプ大統領による関税政策など、今後の行方がつかみにくい問題が多く存在しています。そうした国際状況は、一見自分とは遠い出来事に感じられるかもしれませんが、しかし、グローバル化が進んだ今日では、海外の情勢が私たちの事業や業務内容に波及する例が少なくありません。

皆さんには変化に柔軟に対応できる視野と行動力を養っていただくことを期待しています。こうした時代の中でも、新たな価値を創造する機会が豊富にあります。個々が自ら考え行動する力が、これからの会社を支える原動力になると考えています。皆さんには、まだ経験が浅い分、柔軟性と吸収力があります。自分ならではの発想を大切にしながら、先輩方の知恵に学んでください。主体的な学びが、組織に新しい風を吹き込みます。

これまで、当社は100年の歴史を通じ、数多くの困難に直面してきました。その都度、先人たちは取引先はじめ多くの方々の協力を支えられながらも、粘り強い挑戦と改善を続け、新たな局面を切り開いてきました。皆さんにも、そうした精神を受け継ぎ、企業の枠を超えて社会に貢献する意欲を持って欲しいと思います。折々の変化に対応できる人材は、どのような状況でも力を発揮できるはずです。未知の課題に直面した際には、既存の枠組みにとらわれず、若い視点でアイデアを生み出してください。大きな展望を持ちながら、小さな一歩を積み重ねることで、やがて大きな成果につながります。仕事に絶対的な正解はありません。だからこそ、自らの力で複数のアイデアや方法を模索し、より良い選択を追求する姿勢が大切です。当社は挑戦を大に歓迎します。失敗したとしても、そこから学べば次の機会に生かせるでしょう。皆さんが生み出す新たな発想とエネルギーが、当社の次なる100年を築く大きな支えになると期待しています。

最後に、皆さんの前向きな姿勢と行動力が会社全体を活性化させることを強く信じています。本日、偉そうにしゃべってしまいましたが、私も社長業が1年にも満たない駆け出しです。ここにいる11人の皆さんと、共に力を合わせ、未来を切り拓いていこうではありませんか。

代表取締役社長 浦田 成己

本件に関するお問い合わせ先：IR・広報部（電話：03-3273-4632）